

令和7年度共通政策課題分（教育関係共同実施分） 概算要求事項の概要

大学等名	岐阜大学	大学等番号	42
事業名	教育デザイナー養成講座“バード”及びオンライン・コミュニティ“学びの大地”の新設		
事業概要	教育デザイナー養成講座“バード（仮称）”とオンライン・コミュニティ“学びの大地（仮称）”を新設し、①医療者教育を鳥瞰し、教員との共感的対話を通じて教育業務を再設計・牽引できる専門家を育成し、②多忙な医療者向けFD/SDを実施する。		
事業実施主体	医学教育開発研究センター（医学教育共同利用拠点）		
事業計画期間	令和7年度（2025年度）～令和9年度（2027年度） 【3年】		
<p>1. 事業の目的、必要性・重要性、取組内容の概要、成果指標等</p> <p>【目的】 教育デザイナー養成講座“バード”及びオンライン・コミュニティ“学びの大地”を新設し、業務を効率化・最適化する専門家の育成と多忙な医療者向けFD/SDを提供する。</p> <p>【必要性・重要性】 教員や医療機関従事者の業務が多忙を極め、働き方改革も急務となったため、教育業務を効率化・最適化できる専門家を養成し、より効率的にFD/SDを提供する必要がある。</p> <p>【取組内容の概要】 これまで医学教育開発研究センターで提供してきた“学びの宙”の活動に加え、教育デザイナー養成講座“バード（仮称）”を新設し、年1回開催、3ヶ月の期間で①事前動画学習、②対面型体験学習、③現場実践後の拡張型学習を提供する。一方、オンライン・コミュニティ“学びの大地（仮称）”は年3回開催していた医学教育セミナーとワークショップを年2回の対面開催とオンライン「メドチャンネル」に再編する。オンラインワークショップを各月開催などに分散させ、収録内容はオンデマンド化し、学習マネジメントシステムを設置したのちにアーカイブ化し、チャンネルとして蓄積する。また、医療者教育の基本的な情報や様々な知見を多様な媒体で蓄積しコミュニティ内や外部と共有する場としてナレッジコミュニティをオンライン上に構築する。令和7年度は、教育デザイナー養成講座の立ち上げと学習マネジメントシステムの設置、ナレッジコミュニティの構築を行う。</p> <p>【成果指標】 ① 医学教育セミナーとワークショップの年間参加者数（目標延べ350名） ② 医学教育セミナーとワークショップ（オンライン）の年間参加者数（目標延べ150名） ③ 教育デザイナー養成講座の認定者数（3年間で60名程度輩出することを目標とする）</p> <p>【事業達成と成果指標との関係性】 各企画の①開催回数と②参加者数は、本事業が医療者教育のニーズを適切に反映しているかどうかを評価する基本となる。また③④の参加者及び認定者の所属機関、所在地方、専門職種の情報、必要とする地域性・専門性（職能）などが明らかになることで、MEDCが目標とする多様な職種へ学びが提供できているか、また、高度な学びを得た人材が全国の多様な領域へ輩出されたかを知るための評価指標となる。さらに、②参加者数や④認定者数の増加は、医療者教育の専門性の向上かつ、現代の忙しい医療者に合う今後のFD/SDの実施方法を提案できたと評価できる。</p>			
2. 備考			